

令和7年（2025年）2月教育委員会定例会会議録

日 時 令和7年（2025年）2月13日（木）午後1時30分～午後2時51分

会 場 柏崎市役所4階4-4会議室

出席者 教育長 近藤喜祐  
委員（教育長職務代理者） 阿部健志  
委員 米谷杉子  
委員 飯塚政雄

欠席者 委員 霜田真紀子

説明のため出席した職員

教育部長 本間和人  
教育総務課長 田辺文敏  
学校教育課長 兼  
教育センター所長 矢沢欣也  
文化・生涯学習課課長代理 池田良  
スポーツ振興課長 兼  
水球のまち推進室長 藤巻久之  
図書館長 徳間正  
博物館長 西巻隆博

説明及び職務のため出席した事務局職員

教育総務課課長代理 布施豊

議 題

1 会議録署名委員の指名

2 審議事項

- (1) 令和7年度（2025年度）教育委員会予算について
- (2) 柏崎市学習指導非常勤講師任用要綱の制定について
- (3) 新潟県柏崎市外国語指導助手任用要綱の一部改正について
- (4) 新潟県柏崎市外国語指導助手（NON JET）任用要綱の一部改正について
- (5) 第三次柏崎市子ども読書活動推進計画について
- (6) 市立博物館設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について

3 報告事項

- (1) 荒浜小学校新校舎が竣工しました
- (2) 第55回新潟県ジュニア美術展覧会柏崎展の開催報告について
- (3) 令和6（2024）年度市民スキー（スノーボード）スクールを開催しました

- (4) 女子の水球大会「第8回新潟レディースカップ水球競技大会」が開催されます
- (5) 男子の水球大会「第1回アジアウィンターカップ水球競技大会」が開催されました
- (6) 「第71回文化財防火デー」に伴う文化財消防訓練の実施報告について
- (7) 共催・後援の事業について

#### 4 その他

- (1) 3月定例会の日程について
- (2) その他

---

＜ 午後1時30分 開会 ＞

#### 第1 会議録署名委員の指名

(近藤教育長)

会議録署名委員に、米谷委員、飯塚委員を指名する。

#### 第2 審議事項

(近藤教育長)

審議事項に入る。

(近藤教育長)

- (1) 令和7年度(2025年度)教育委員会予算についてを議題とする。

(教育部長)

新規事業と拡充事業、そして予算規模は縮小していても、主要となる事業を中心に説明する。

最初に教育総務課所管事業を説明する。「通学支援事業(小学校・中学校)」1億3,070万円は、通学が遠距離となる児童生徒に対して、スクールバスの運行や路線バス定期代を補助し、通学に伴う経費負担を軽減するための経費である。なお、スクールバスは学校の校外活動にも利用することとしている。

「情報機器管理費(小学校・中学校)」5億3,235万7千円は、第一期GIGAスクール構想の際に配備した小学校3年生以上のタブレット端末を更新するための経費である。また、児童生徒及び教職員の情報・教育環境の充実を図るため、保守・管理業務を包括して外部事業者と締結した5年契約の3年目の経費も計上している。なお、小学校1・2年生については、昨年12月にタブレット端末を配備している。

「小学校施設整備事業」3億7,450万円と、「中学校施設整備事業」4億2,130万円は、学校トイレの洋式化に要する経費である。なお、新年度に実施する小学校5校と中学校3校の改修工事をもって、学校トイレの洋式化は整備が終了する。また、近年の猛暑の状況を鑑み、特別教室へのエアコン設置を新年度から令和9(2027)年度までの3年間の予定で順次進める計画としており、新年度には、小学校3校、中学校2校の設置工事の経費を計上している。ほかに、旧野田小学校体育館の解体工事の設計業務も予定しており、その経費も計上している。

「給食業務運営経費」3億1,284万2千円は、安全・安心な給食を児童生徒に提供するため、学校給食共同調理場6施設の給食調理業務を3年契約で外部事業者へ委託した2年

目の経費であり、「学校給食費」4億34万4千円は、学校給食費の徴収を市が行うとともに、児童生徒にとって適正な栄養摂取と健康の保持増進に必要な食材を確保し、食料品等の価格の高止まりが続く中でも、安定した給食の提供を行うための経費である。

次に学校教育課所管事業を説明する。

「学力向上推進プロジェクト事業」420万3千円は、全国的な学力調査の結果において、本市の小学校は全国・県平均を上回っているものの、中学校においては全国水準に届いておらず、伸び悩んでいる状況となっていることから、学力向上推進プロジェクトを継続し、4年目の取組を進めるための経費である。学力向上推進員1名を任用し、学校訪問による助言、ICTツールの活用方法の提案などを行うとともに、研修の実施など教員の指導力を高めることで、子ども達の思考力・判断力・表現力や知識、技術を活用する力を伸ばし、全国及び県平均を上回る学力レベルの定着を目指す。

「英語教育推進事業」3,305万7千円は、小・中学校の英語教育と国際理解教育の充実を図るため、ALT5名と非常勤ALT1名を引き続き配置し、小学校の外国語活動や中学校の英語授業で、教諭とのチームティーチングなどを実施するための経費である。なお、新年度は、ALTの報酬額のアップを図っている。

「指導補助員等配置事業」1億5,197万5千円は、支援が必要な児童生徒への学習指導や生徒指導の補助を行うため、指導補助員4名を増員し、51名を配置する経費である。また、日本語指導員も2名配置することとしている。

「部活動外部人材活用事業」855万1千円は、令和8（2026）年度に予定されている休日の学校部活動地域展開の本格実施に向け、部活動指導員を新たに3名増員し、22名を配置して指導体制を整えていくことで円滑な移行を目指すための経費である。

「学習指導非常勤講師配置事業」1,195万5千円は、新規事業であり、児童生徒の学力向上のため、学習指導非常勤講師5名を小・中学校に配置し、きめ細やかな学習指導を行うための経費である。

次に文化・生涯学習課所管事業を説明する。

「市民プラザ管理運営費」1億2,168万円は、市民プラザの管理運営に要する経費と、経年劣化した各種共用部分の設備を、大規模改修するための費用を負担金として支出するための経費である。

「文化振興支援事業」81万円は、休日の学校部活動地域移行の本格実施に向け、吹奏楽の指導員を支援するための経費に加え、新たに、柏崎文化協会へ補助金を交付することで、市民の文化事業を支援するための経費である。

「文化振興事業」2,501万6千円は、花をテーマとした絵画の購入に係る経費及び早春の柏崎を彩る「柏崎の花 Spring Collection」を継続して開催するための経費である。本年度も先般、2月7日から11日にかけて開催し、教育委員の皆様からもご覧いただいたものと思う。この展示会は、花にまつわる絵画を展示するほか、市内3流派による生け花展示、華やかで多彩なイベントなど、本市独自の企画展となっている。次回も多くの市民の皆様のほか、市外県外の方からもお越しいただき、冬季の誘客にも寄与したいと考えている。

「文化会館整備事業」2億680万円は、文化会館アルフォーレの照明設備をLED化することで長寿命化を図るための経費である。

次にスポーツ振興課と水球のまち推進室所管事業を説明する。

「市民スポーツ大会経費」746万3千円は、10月に開催する市民スポーツ最大のイベ

ント「第12回市民大運動会」の活動経費を含めて計上している。前回、令和2（2020）年は、新型コロナウイルス感染症対策のため、WEB運動会として開催したので、市民の皆様が一堂に会しての運動会は10年ぶりとなる。幅広い層の多くの市民の皆様がスポーツやレクリエーションに親しむ機会とし、スポーツを通じた地域づくりや健康づくり、生きがいくりにつなげたいと考えている。

「スポーツ事業支援経費」3,067万8千円は、各種市民スポーツ大会や大規模大会を実施するための経費のほか、パラスポーツの普及・振興、子どもの運動機会を増やす取組、柏崎市スポーツ協会や地区体育協会等の活動を支援するための経費である。

「陸上競技場整備事業」800万円は、陸上競技場の第2種公認資格を得るために必要な改修工事の設計業務委託を行うための経費である。

「県立柏崎アクアパーク整備事業」600万円は、柏崎アクアパークの50mプールとレジャープールの照明設備をLED化するための改修工事と、天井改修工事の設計業務委託を行うための経費である。

「水球のまち柏崎推進事業」1,357万9千円は、主に柏崎水球事業実行委員会への負担金となるが、アジア圏における水球の聖地化を目指し、市内社会人クラブの強化や水球大会・合宿の誘致を推進するほか、地域おこし協力隊を活用するなど、水球を核としたまちづくりを進めるための経費である。

次に図書館所管事業を説明する。

「図書館サービス事業」6,571万7千円は、図書館での資料整理や貸出し、広報誌発行などの事務経費のほか、図書館業務に携わる図書館業務専門員15名及び小学校を巡回し、児童の読書支援を行う学校読書支援員5名の人件費などを計上している。

最後に博物館所管事業を説明する。

「綾子舞後継者育成事業」187万円は、ユネスコ無形文化遺産に登録された国指定重要無形民俗文化財「綾子舞」の後継者を育成するため、伝承者養成講座の開催や伝承学習に係る経費である。

「柏崎市内遺跡発掘調査事業」3,261万1千円は、埋蔵文化財保護のための試掘調査や、調査の内容を記録する報告書の刊行に要する経費であり、県指定史跡相当と評価されている西岩野遺跡の史跡指定に向けた調査経費を含めて計上している。

「埋蔵文化財施設整備事業」738万円は、旧柏崎市遺跡考古館の解体に係る設計委託料を計上している。

資料の説明は以上だが、昨年2月定例会での席上、新年度予算に関する資料を皆様に配布させていただいたが、今年度は、明日、14日に市長臨時記者会見において新年度予算案を公表することになっており、今日、皆様に配布することができない。後日、改めて皆様に配布させていただきたい。

については、柏崎市全体の令和7（2025）年度予算額は今日この段階では皆様にお示しすることはできないが、教育費についてのみ、新年度予算額をお示しする。

令和7（2025）年度の教育費は、68億4,375万1千円となっており、令和6（2024）年度との比較で4億2,601万8千円、5.9%の減となっている。これは、荒浜小学校の校舎改築工事が一段落したことが大きな要因と思われる。

教育予算について言えば、教育委員会各課、各館が要求した事業は概ね新年度予算案に反映されたものと考えている。

新年度予算成立までのスケジュールは、今月 21 日（金）に市議会本会議において予算案の説明、3 月 17 日（月）に予算決算常任委員会文教厚生分科会で教育委員会予算の審査、そして 3 月 21 日（金）に議会本会議で採決が行われる。

（近藤教育長）

質問、意見を求める。

（阿部委員）

情報機器管理費でタブレット端末は全て入替えになるのか。突出した金額になるが、もう少し詳しく説明いただきたい。

（教育総務課長）

中学生を含めて、小学 3 年生以上のタブレットは使用から 5 年経過するが、全て新しい機種に入替えする。購入方法は、県が一括で業者を選定し、共同調達を行う。財源として県から補助金が入る。なお、教職員の入替えは予定していない。

（飯塚委員）

学習指導非常勤講師配置事業で、学習指導非常勤講師 5 名を新たに配置ということだが、どのような方が講師になるのか。

（学校教育課長）

次の審議事項でお話させてもらうが、教員免許を持っている方になる。

（阿部委員）

旧教育センター（若葉町）だが、今現在使用していないが、今後の使用予定はあるか。

（学校教育課長）

教育的に活用していく予定はない。

（教育部長）

補足させてもらうと、民間業者から使用したい話はあったが、契約までには至らなかった。今現在、具体的な利用形態は定まっていないが、可能な限り、民間への売却等を含めて検討している状況である。

（飯塚委員）

文化振興事業、「柏崎の花-Spring Collection-」の開催について、今年は 5 日間の開催だったが、その開催費用に 2, 500 万円の費用だが、費用対効果の検証が必要でないか。

また、絵画の購入予定額を聞かせてもらいたい。

（文化・生涯学習課課長代理）

絵画については 2, 325 万 4 千円を予算計上している。

（教育部長）

費用対効果だが、確かにこれだけの金額が数日間の鑑賞期間に留まるのは、議会からも同様な意見を頂戴した。柏崎市では、よい絵画を購入した上で、市民に本物の絵を観てもらいなども期待し、この事業を始めた。

柏崎市が美術館を持っているわけではないので、高価な絵画を買うことがどうなのかという議論はいろいろあると思うが、この期間に限らず、鑑賞できる機会など検討しながら、費用対効果についても効果的になるよう考えていきたい。

（米谷委員）

私も今回の花展を見て、とてもすばらしい絵が柏崎市のものとしてあると認識した。展示をしていないときは、どこに所蔵しているのか。それともどこかに掛けてあるのか。

(教育部長)

展示していない期間は、博物館の所蔵庫に入れてある。

(米谷委員)

柏崎市で所蔵しているものを、どこかに展示して市民が見るようなことを考えていないのか。

(教育部長)

普段から市民が見ることが出来ればいいが、絵画は日の光に当てると、色落ちがするため運営上難しいところもある。今回、県庁から借りた絵画も展示していることもあり、色落ちしない程度に市民の皆様の目に触れるところが、この期間以外にでも出来ればと考えている。

(近藤教育長)

各学校やコミセンに飾られている作品もあるため、担当者が購入した絵画を展示出来ないか検討したが、展示することは難しいと判断した。現在、価値のあるものは残念ながら博物館で保管している。

(飯塚委員)

この事業は、市長の判断で行っているのか。

(教育部長)

市長の判断で、財源にふるさと応援基金を活用し、事業を行っている。

(飯塚委員)

本来の趣旨として、市民に良いものが5日間というのは非常にもったいない話だ。何かしらの形を設けるなどして、子ども達など多くの目に触れることは大事だと思う。

(阿部委員)

旧ふるさと人物館跡地広場について、花展ではソフィアセンターの駐車場が狭かったこともあり、臨時に駐車場として利用は出来ないのか。

(博物館長)

ふるさと人物館の跡地の整備については、国の都市再生の関係の補助金を入れている。臨時的や一時的に災害とか、或いは緊急の場合に、駐車場として利用する形は可能だが、イベント毎に駐車場を常時利用することは、補助金の対象にならないという可能性があるため難しい。

(近藤教育長)

他になければ承認してよろしいか。

(全委員)

異議なく承認

(近藤教育長)

(2) 柏崎市学習指導非常勤講師任用要綱の制定についてを議題とする。

(学校教育課長)

児童・生徒への学習指導及び生活指導を充実させるため、令和7(2025)年度から市内小・中学校に学習指導非常勤講師を5名配置する予定。

現在、児童生徒への「個」に応じた支援の充実では、指導補助員及び介助員を任用している。今年度であれば、指導補助員47名、介助員34名だが、業務としては教員の補助である。つまり、集団への直接的な指導、授業を受け持つことが出来ないこととなっている。

それに対して、学習指導非常勤講師は、児童生徒への直接的な学習指導が行える、授業を受け持つことが出来る任用となっている。勤務時間については、週20時間を上限とする。

(近藤教育長)

質問、意見を求める。

(近藤教育長)

私の方からのお願いだが、新潟県が雇用する非常勤講師と今回、市が雇用する非常勤講師との違いがわかるよう、表のような形でまとめてほしい。

(近藤教育長)

なければ承認してよろしいか。

(全委員)

異議なく承認

(近藤教育長)

(3) 新潟県柏崎市外国語指導助手任用要綱の一部改正について

(4) 新潟県柏崎市外国語指導助手(NON JET)任用要綱の一部改正について

それぞれ関連があるため一括で議題とする。

(学校教育課長)

新潟県柏崎市外国語指導助手任用要綱の一部改正については、昨年12月にJETプログラム参加者の報酬額の見直しについて、国から通知があり、令和7(2025)年度から報酬額を増額するもの。

次に新潟県柏崎市外国語指導助手(NON JET)任用要綱の一部改正については、JETプログラム参加者の報酬額の見直しがあり、均衡を図る必要があるため、報酬額を改訂する。また、指導的役割を担う10年目以降の勤務年数に係る区分を新たに追加する。これは、柏崎市には10年以上、ALTとして勤務し、他のALTを指導してくれている優秀なALTが2名いる。柏崎市独自のもとして、月25,000円上乗せする。

(近藤教育長)

質問、意見を求める。

(飯塚委員)

ALTは何年勤務することに決まりはないのか。優秀な方であれば、長期でも可能なのか。

(学校教育課長)

ALTの中には、母国に戻りたいなどの理由で、1年や2年で母国に帰る人もいる。そうした中、ずっと継続したいという思いで勤務してくれているALTが2名いる。約20年位の継続勤務になるが、長期にわたって、柏崎市のALTとして尽力いただいている。今後も継続してくれると思っている。

(近藤教育長)

他になければ承認してよろしいか。

(全委員)

異議なく承認

(近藤教育長)

(5) 第三次柏崎市子ども読書活動推進計画についてを議題とする。

(図書館長)

第三次柏崎市子ども読書活動推進計画について、これまで、図書館協議会や子ども読書プラン推進会議で協議し策定を進めてきた。昨年11月の定例教育委員会では、委員の皆様からも意見を頂戴したところである。その後、市議会文教厚生常任委員会協議会における意見拝聴や12月9日から年明け1月8日まで1か月間、パブリックコメントを実施した。このパブリックコメントでは、1件の意見をいただき、これまでの協議、いただいた意見等を踏まえ、第三次計画の最終案を作成した。

(近藤教育長)

質問、意見を求める。

(飯塚委員)

意見として言わせてもらおう。「読書が好きな子どもの割合」の表現があいまいで、もう少し具体的な数字として載せたら、より具体的な計画書としての精度が上がっていくのではないかな。

(図書館長)

読書を好きか嫌いかというのは、個人の捉え方によっても回答が変わってくる。数量的なもののある程度目標に設定する方法はあると思うが、とりあえず、目標としてこのようにさせていただいた。実際の事業を進めていく中で、小目標などを設定し、実証したいと思う。

(近藤教育長)

他になければ承認してよろしいかな。

(全委員)

異議なく承認

(近藤教育長)

(6) 市立博物館設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定についてを議題とする。

(博物館長)

プラネタリウム入館料を県内の他施設との均衡を図るべく、令和7(2025)年4月1日以後のプラネタリウム入館料を一部改訂するものである。

現行、プラネタリウムだけの入館料は、一般・高校生は280円となっているが、これを廃止し、現在の常設展示・プラネタリウム460円と同様の金額にしたいものである。

(近藤教育長)

質問、意見を求める。

(飯塚委員)

常設展示の部分で、何かに特化したようなもの、昆虫とか蝶とか、子ども達の興味のあるものを非常設でも構わないので、盛り込んでもらおうと博物館に行く機会が増えると思うので検討いただきたい。

(博物館長)

博物館の資料の中に昆虫類があるが、少し寂しい。今の学芸員には生物関係に詳しい学芸員がいない。以前在職していたが退職した。昆虫サークルや生物系のサークルの方もいるが、高齢であり、標本の作り方ぐらいの指導は出来るが、展示となると体がしんどいため勘弁してもらいたいと話をいただく。そういった中でも連携を図りながら、施設として提示できる

よう頑張っていきたい。

(近藤教育長)

他になければ承認してよろしいか。

(全委員)

異議なく承認

### 第3 報告事項

(近藤教育長)

報告事項に入る。

※教育長及び各課(館)長が資料に沿って説明

- (1) 荒浜小学校新校舎が竣工しました
- (2) 第55回新潟県ジュニア美術展覧会柏崎展の開催報告について
- (3) 令和6(2024)年度市民スキー(スノーボード)スクールを開催しました
- (4) 女子の水球大会「第8回新潟レディースカップ水球競技大会」が開催されます
- (5) 男子の水球大会「第1回アジアウィンターカップ水球競技大会」が開催されました
- (6) 「第71回文化財防火デー」に伴う文化財消防訓練の実施報告について
- (7) 共催・後援の事業について

(近藤教育長)

以上で報告事項を終わる。

### 第4 その他

- (1) 3月定例会の日程について 3月21日(金)午後3時開会
- (2) その他

< 午後2時51分 閉会 >

---

以上、相違ないことを確認する。

令和7年(2025年)3月21日

教育長 近藤喜祐

委員 米谷杉子

委員 飯塚政雄